

コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

発行日：H27.7.16 発行者：国見町教育委員会学校教育課 ☎：585-2892 No.4

第2回国見学園コミュニティ・スクール(CS)委員会を開催

7月8日(水) 役場庁舎大会議室において、平成27年度第2回国見学園CS委員会を開催しました。前半は「国見小学校の特色ある学校経営」についての協議を行いました。国見小校長(委員)から、

- 1 学力向上に向けて、全校で「百マス計算」に取り組んでいること
- 2 体力・運動能力向上に向けて、「くにみっ子 JR マラソン」に取り組んでいること
- 3 「4～6日(よむ)のつく日は家読の日」として、読書を推進していること
- 4 国見学に取り組んでいること(国見町歴史探検隊やバケツ稲栽培活動の紹介)などが1学期の実践として発表されました。委員からの声をいくつか紹介します。

- 百マス計算は効果がある。家庭と協力しながら学力向上を図りたい。
- 歩く機会が減っているのでJRマラソンの取り組みはありがたい。
- マラソン等苦手な子どもへの支援も考えたい。
- 学力も体力も意欲を向上させるには褒めることが一番である。
- 家読については、家庭の意識も高まってきた。今後も推進したい。

百マス計算・体力向上への意欲付け、家読の実践など、ご家族・地域の皆さまのお力添えをよろしくお願ひします。



演題 未来は今、ここにある「地域とともにある学校」をめざす私たちの実践



後半は、文部科学省CSマイスターの四柳千夏子さんを講師にお招きして、委員研修のためのCS講演会を行いました。四柳さんは、福島市出身で、これまで東京都三鷹市内の小中学校のPTA会長やCS委員会会長などとして「地域とともにある学校」づくりに貢献してこられました。

三鷹中央学園CS委員会の実践を例に、CSの役割、地域が学校に関わることの意義、「地域とともにある学校」のよさや課題など、多くのことを学ばせていただきました。

コミュニティ・スクールの役割 ～「地域とともにある学校」であるために～

- 1 よりよい学校づくりのために話し合う(協議機関としての役割)
 - ・めざす方向性、めざす子どもの姿の共有。課題は何か?解決するためにはどうすればよいか?
- 2 より質の高い学校教育を支援する(学校支援組織としての役割)
 - ・先生のやりたいことを実現させよう!地域人材を学校教育につなげよう!人と人をつなぐ拠点!
- 3 「辛口の友人」として言うべきことは言う、そしてともに行動する(評価する役割)
 - ・やってみてどうだったか?を点検しよう。どんな成果があったか、次年度へ向けての改善点は?

次回の国見学園CS委員会は、平成27年10月21日(水)開催予定です。(傍聴可です)